

シニアネットワーク東北 平成 24 年度活動計画 (案)

原子力発電所の再稼働が討議されているが、見通しは決して楽観的なものではなくこの夏の電力不足が懸念されている。エネルギー問題を短期的視野や単に好き嫌いだけで判断すると、日本の将来に大きな禍根を残すことになる。

一方、震災の瓦礫について、震災地の各自治体は放射能汚染レベルをチェックし、瓦礫受け入れ地元住民の健康に影響を与えないことを確認しているにもかかわらず、受け入れを拒否するケースがある。

背景には 30 年間に及ぶ放射能・放射線に対する小中学校の基礎教育の欠除などによる知識不足があると考えられる。また、食品も国の基準値を遥かに下回るレベルでも、風評により買い手がなく生産者が苦境に立たされている。

従って、わが国のエネルギー問題、放射能・放射線に対する啓蒙のために、地域社会および家庭内のオピニオンリーダーとなる大学生および高専生との対話活動を重ねることがシニアネットワーク東北の活動の大きな柱となると考えられる。

このため、SNW東北としては国の施策、自治体の動向、住民意識も勘案しながら今後の対話活動について計画を練り、次の実施項目を基本に東北エネルギー懇談会およびシニアネットワーク連絡会と連携して計画することとする。

1. 定期総会 6月4日(月)開催
2. 対話活動
 東北電力新入社員との対話 5月24日(木)実施
 大学・高専などとの対話 (対話先との調整により適宜開催)
3. 拡大幹事会
 原則毎月第4月曜日開催
4. SNW連絡会運営小委員会
 定例・臨時会議への参加
5. 会員勉強会
 前年同様適宜実施
6. 各種講演会、シンポジウム、見学会等への参加
 前年同様適宜参加
7. 提言活動・PR活動
 HP・インターネット等の活用

以上